

平成25年度「確かな学力の伸長を図る調査」の 分析に基づく授業改善推進プラン

東久留米市立 南中学校

(3) 学年 (国語) 科

1 「確かな学力の伸長を図る調査」の分析結果

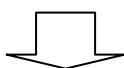
これまでの指導の成果

各領域、全国平均を6ポイント以上上回る結果であった。

- ・話すこと・聞くこと：発表活動や班学習、聞き取りテストを積極的に取り入れたことで、力を伸ばすことができた。
- ・書くこと：読後の感想、作文活動により書くことに抵抗がなくなってきた。
- ・読むこと：文学的文章については「状況→心理→行動」のパターンを意識した学習を1年次から繰り返してきてきたことにより、心情把握に対する力が付いた。説明的文章については文章構成・キーセンテンスに注目する読み方、要約練習を行い、内容を的確に押さえ読む力が付いてきた。
- ・伝統的な言語文化と国語の特質：文法、漢字の学習を繰り返し行い、力が付いてきた。

課題

- ・作文活動においては、文の組み立てや構成に対する意識が低い。また、語彙力が乏しく、表現が豊かでない。
- ・説明的文章に対する苦手意識が強く、長文を読むことに抵抗を感じている。



2 課題解決に向けた具対策について

個に応じた指導について(補充的な学習及び発展的な学習の推進に向けて)	
補充的な学習	発展的な学習
<ul style="list-style-type: none">・文法の復習を定期的に行い、文章の中で正しく活用する練習を行う。・文章を書いた後は、必ず推敲を行う。・要約練習を行う。	<ul style="list-style-type: none">・演習問題を繰り返し解く。
その他	
<ul style="list-style-type: none">・入試に対応しうる力を付けるため、長文の演習問題を取り入れていき、長文を読むことへの抵抗をなくすと共に、速読力を付ける。・二百字作文を定期的実施する。	

※ 各校授業改善推進プランを作成に当たって、国語と算数・数学は、このプロットを付け足してください。

※ 今までの各校独自のプロットは、このあとに付けるようお願いいたします